

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.14 新潟支部
(アンダンテ)

● あゆみ

1995年に、新潟市で学齢期以上の年長者のダウン症親の会「どんぐりの木」とダウン症の乳幼児と親の会「ドレミくらぶ」の会員同士が協力し合って、日本ダウン症協会発足を機に、新潟支部『アンダンテ』を立ち上げました。

● 活動

活動の基本は、月1回の会報「アンダンテ」の発行。発送作業は、現役員とその子どもが中心となって行います。そこに先輩方や会員の子どもたちも加わり、作業を手伝ってもらいながら楽しく情報交換などを行っています。

また、顧問の先生による相談会や、各種機関への啓発活動、行政への働きかけ、定期総会（年1回）、地域別ブロック活動、勉強会なども行っています。

親の高齢化などにより活動が難しくなっ

ているブロックもありますが、新潟ブロックでは、ここ数年、「森のコンサート」と題した活動をしています。森林の会の方々にボランティアとして参加していただき、里山を散策し、森の中で昼食を食べ、コンサート会場へ向かい、フルートやオカリナなどの演奏を楽しむものです。普段は体を動かすことがそれほど多くない子どもたちにとって、自然とふれあいながら山歩きをすることはとても貴重で、実のある体験だと思います。

アンダンテ全体の取り組みとしては、2009年に岩元綾さんをお招きし、「21番目のやさしさに」と題して講演会を開きました。また、2013年には第17回「全国巡回セミナー」を新潟市で開催しました。

今後も、子どもたちの笑顔を絶やすことのないよう、しっかりサポートをしていきたいと思っています。

● 支部長より

今年度から支部長を交代しました。ネット社会の現代だからこそ、会員同士が顔を向き合わせて情報交換をすることはとても重要だと考えています。この会が長く続くように、無理をせず、支え合いながら、楽しく活動していけたらと思っています。

- ◆ 支部長：松本 麻衣子
- ◆ 支部会員：約 75 家族と賛助会員
- ◆ 設立：1995 年
- ◆ ご本人の年齢：0 歳 ～ 40 歳
- ◆ 対象地域：新潟県内全域



「森のコンサート」(2015年)
森の中で聞く音楽に身も心も開放されます！